



卒業おめでとう!

3月11日、池間小中学校卒業式が行われ、小学生4名、中学生4名が卒業証書を受け取りました。この卒業証書も卒業生たちがチョマを使って自分たちで手すきして作ったものです。会場には、



発行者
NPO 法人いけま福祉支援センター
電話：75-2870



地域の方も大勢集まり、卒業生たちの門出を祝いました。小学校を卒業したのは、与那覇康太さん、前泊優太さん、水田勝久さん、奥平類さんの4名。中学校を卒業したのは、金城駿介さん、与那覇美紅さん、山里莉羅さん、奥平姫音さんの4名です。新たなステージでの活躍を期待しています!

『池間どう〜ぬすま憲章』策定にむけて

先月より、いけま島おこしの会では島の美しい自然と景観を守っていくための「自治憲章」作りの話し合いを行っています。最近、島の海岸線が外部資本によって開発されているのを多く目にするようになってきます。このような土地の島外流出や景観を乱す開発を食い止め、美しい島を未来へ繋いでいくために、いけま島おこし

の会で「憲章」の原案を作成しました。今年の自治会総会で採決をとったのち、正式に制定する流れです。原案を今回の新聞裏面に掲載していますので、目を通していただき、ご意見をいただきたいと考えています。島民一人一人の思いを反映させていくため、ご意見のある方は池間自治会までお願いいたします。



与那覇康太さん



金城駿介さん



水田勝久さん



与那覇美紅さん



奥平類さん



山里莉羅さん



前泊優太さん



奥平姫音さん

東大で海洋教育成果報告

池間小中学校の中学生全員と小学生3名が、3月18日に東京大学にて開催された海洋教育パイオニアスクールプログラムの成果報告に参加し、オカガニ観察や海神祭、海の体験学習、アドンを使った活動などを通して学び、島の将来について考えたことなどを発表しました。

今後のよてい

- ▶ 3/31(土)・4/1(日) 高校生演芸会
- ▶ 4/9(月) 池間小中学校入学式 ▶ 4/18 サニツ
- ▶ 4/22(日) トライアスロン宮古島大会
- ▶ 4/22~25 サイエンスフロンティア中学校民泊



池間どう〜ぬすま憲章（島おこしの会原案）



どう〜ぬすま（私たちの島）にとって、守っていききたいと心から願うものは、伝統行事と祭祀、自然と寄り添う暮らしの知恵、富を分かちあってきた助け合いの心である。そして、それらを根底で支えてきたのは、やはり、常に食と職の恵みを与え続けてくれた母なる海と島の大地である。島の姿が急激に変わりつつある今、島民の心を一つに、美しい島を未来へ繋いでいくための「どう〜ぬすま憲章」をここに定める。

一、島の自然環境・集落景観を乱すような開発を許さない

何人も、保安林の不法伐採はもちろん、たとえ法的な規制がない場所であっても島の自然環境や集落の景観を乱すような開発行為を行ってはならない。自治会と島民は協力して、監視や事業者への要請などあらゆる努力を行う。

一、土地の島外流出に歯止めをかける

島外への土地の売却は、母なる島の切り売りに繋がり、島外者による海岸の占有などの問題が出始めている。島の土地が島外へ無秩序に切り売りされないよう、自治会と島民は最大限の努力と工夫を重ね、島外に売らなくてもよい方法を模索していく。

一、貴重な資源の無秩序な採取を禁止する

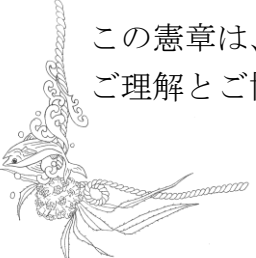
池間島には、貴重な生物や景観等の資源が多数あるが、これらは先人が守り育ててきた資産である。何人も、違法採取はもちろん、個人の鑑賞等たとえ合法であっても島の宝を減少させ、破壊するような採取を行ってはならない。自治会と島民は監視や掲示等を通じて資源の乱獲に歯止めをかける。

一、廃棄物の不法投棄を許さない


何気ない小さなゴミのポイ捨てでさえ、積み重なって島や生きものを傷つけている。何人も、海や島内に廃棄物を投棄してはならない。島民は自ら律することはもちろん、自治会と協力して観光客へ理解を求め、島外業者が廃棄物を持ち込まないよう警戒を厳にする。

一、島内美化・緑化活動を推進する

島民と自治会は、協力して集落内の草刈りや清掃を行い、庭さきに花を、道に木陰を、海岸そばには防風林を豊にすることで、島民が住みやすく、島を訪れる人々も癒される美しい島をめざす。



この憲章は、何かを強制するための規則ではありません。島人の共通の願いを形にしたものです。ご理解とご協力をお願いします。やぐみすでいがふうあたい。



二〇一八年●月●日 制定

池間自治会